

《巻頭特集》 東北観光DMPから見る東北6県及び新潟県のインバウンド観光動向

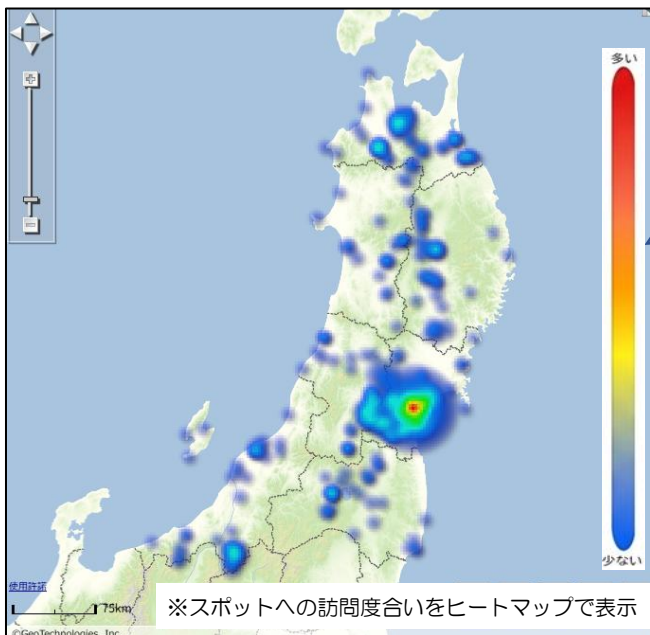
※出典：東北観光DMP (データ提供元：株式会社インテージ)

東北観光DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）では、東北6県及び新潟県の観光マーケティングデータを一元管理しており、観光客の動態や消費購買などを分析することが可能です。

以下では、2025年1～12月の期間におけるインバウンド観光動向について分析を行っています。

1. 東北・新潟のインバウンド動態分析について

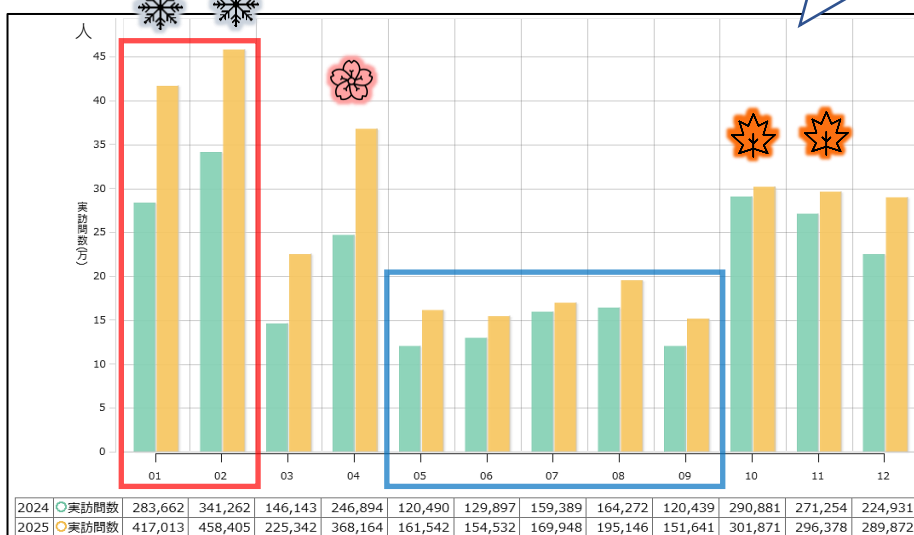
【域内スポットへの訪問状況】



仙台市を中心としたエリアに訪問の集中傾向が確認できる。仙台空港や仙台駅といった交通拠点を有していることが要因と考えられ、仙台市を起点とした周遊傾向がうかがえる。
また、域内新幹線の沿線エリアに各県の訪問が多いスポットが集中。国際線が多く就航する東京圏とのアクセス性や、域内の移動手段として新幹線が利用されていることがうかがえる。

月別で最も訪問が多かったのは1～2月のスノーシーズン、次いで4月（桜）、10～11月（紅葉）の順。前年と比較して4月の伸びが大きく、月別で紅葉の時期の訪問を上回った。
一方で、5～9月のグリーンシーズンは前年からの伸びも限定的であり、引き続き誘客拡大に向けた取り組みが必要である。

【域内スポットへの実訪問数推移】



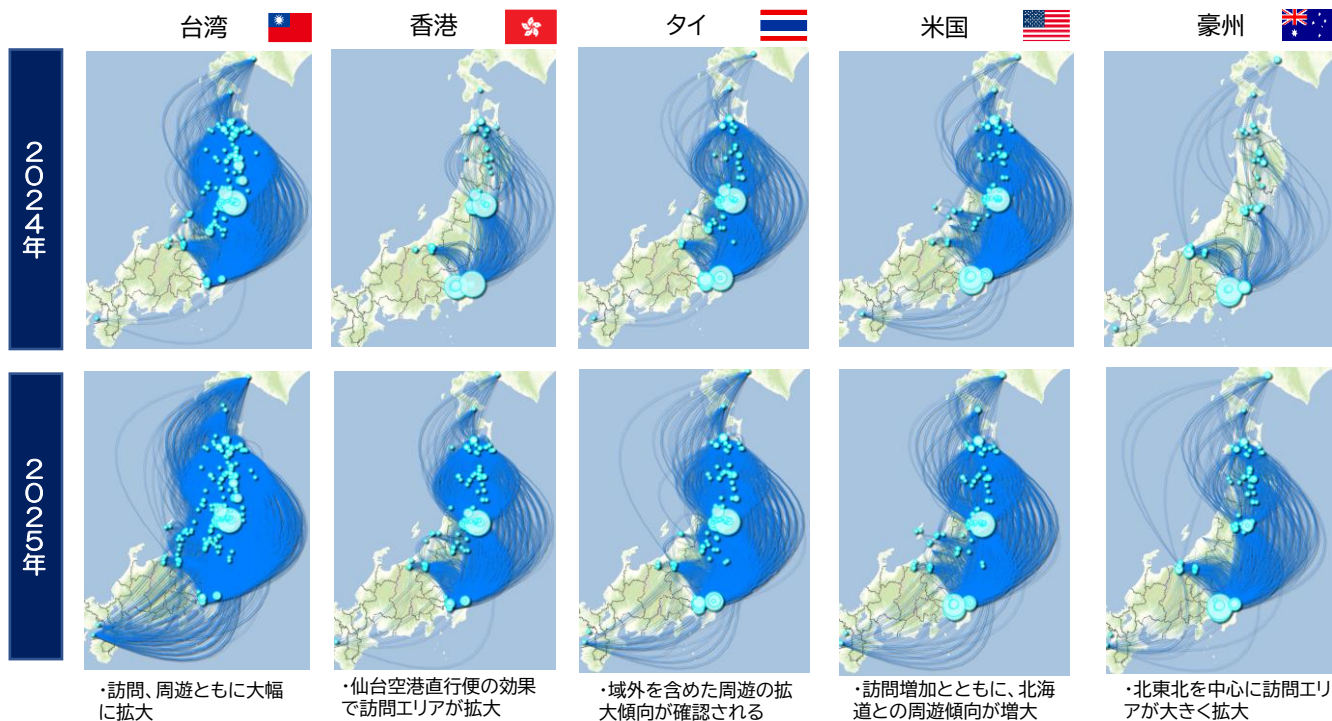
【訪問上位15か国】

国名	実訪問数	構成比	伸び率
総合計	3,189,854	100.0%	127.6%
台湾	1,940,907	60.8%	112.8%
中華人民共和国	289,199	9.1%	138.5%
香港	259,946	8.1%	234.8%
アメリカ合衆国	148,744	4.7%	114.0%
タイ	147,675	4.6%	158.1%
大韓民国	120,629	3.8%	140.9%
オーストラリア	85,406	2.7%	156.2%
マレーシア	44,314	1.4%	342.1%
シンガポール	38,581	1.2%	106.6%
インドネシア	15,967	0.5%	324.4%
イギリス	13,048	0.4%	150.2%
フランス	12,070	0.4%	297.0%
カナダ	11,605	0.4%	389.0%
ドイツ	11,344	0.4%	155.5%
フィリピン	11,087	0.3%	166.7%

国別では台湾が約6割を占める。
香港が前年比234.8%と大きく伸長。
（仙台空港への直行便の増加等が要因）

2.主な市場別動態分析について

訪問スポット:バブル(相対的な訪問数を大きさで表示)
周遊傾向:各スポットをパスで繋いで表示

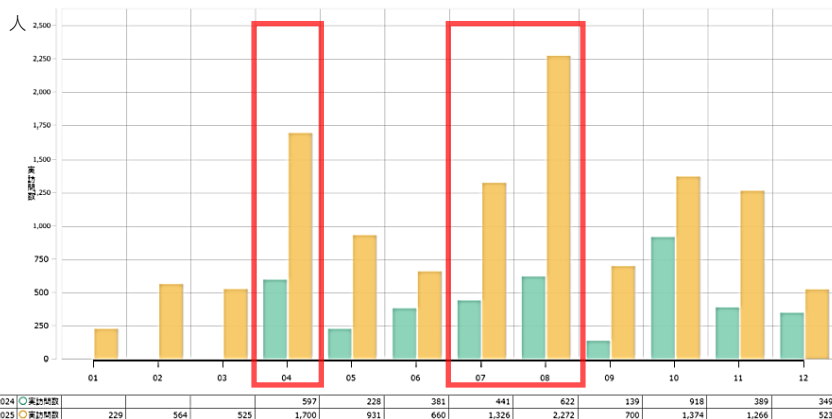


★フランスの動態分析

東観推では、宮城県・仙台市をはじめとする東北各県と連携し、2025年度から複数年計画で、フランスを中心とした欧州に対する誘客促進のためのプロモーションを実施しています。

年	実訪問数	2019年比
2019年	3,300人	—
2024年	4,064人	123.2%
2025年	12,070人	365.8%

約3倍に増加！ 



訪問数の増加に伴い、訪問スポット・周遊エリアの大幅な拡大が確認できる。

全期間を通して訪問数が増加。
特に桜の人気の高い4月、サマーバケーションの7～8月に大幅に拡大。
→グリーンシーズンの誘客に可能性あり！

◆ インバウンド

・6/23～25 JNTO商談会等（マルセイユ・パリ・ロンドン）

【6/23 フランス・マルセイユ】

現地旅行会社とのネットワーキングイベントに、JR東日本パリ事務所および山形県と参加し、東北に関するプレゼンテーションとブース出展を行いました。参加者の多くは東北という地名を初めて聞いたという方々も多く、プレゼンテーションを通して、東北の魅力に関心を持っていただくことができました。ブースでは東北の果実酒や甘酒、各県市名産のお菓子等を試食していただき、大変好評でした。



【マルセイユでのネットワーキングイベント】

【6/24 パリ】

JNTO主催の商談会に参加し、現地旅行会社等16社と商談を行いました。まだ海外に知られていない「新しいデスティネーション（目的地）」を探している旅行会社が多く、東北の観光地やアクセスについての質問が多く寄せられました。伝統文化に関するコンテンツへの需要も高く、フランス市場と東北との親和性の高さを実感しました。



【パリでのJNTO商談会】

【6/25 ロンドン】

JNTO主催の商談会に参加し、現地旅行会社等13社と商談を行いました。フランス同様、東北について知っている参加者が少なかったため、東北の基本的な情報をご説明すると共に、各社の客層に合わせたコンテンツを紹介しました。



【ロンドンでのJNTO商談会】

・6/23～26 香港旅行会社招請

東北のグリーンシーズンのPR及び商品造成に向け、香港の旅行会社3社3名を招き、福島県・山形県・仙台市を視察しました。

視察先では、五色沼湖沼群巡りやさくらんぼ狩り、蔵王・御釜などが好評で、「夏の緑の爽やかさや、この時期ならではの体験はお客さまにもぜひ勧めたい」と高評価をいただき、夏の観光資源の魅力を訴求できました。7月は岩手県・秋田県・宮城県（仙台市以外）の視察を予定しています。

今後は香港の旅行博での販売も見据え、単なる情報発信に留めず、確実な実送客に結びつくように取り組みを推進してまいります。



【福島・五色沼散策】



【山形・さくらんぼ狩り】



【仙台ではSUP体験も好評】

◆ 会議等

・6/8 第10回通常総会、第37回理事会

ホテルメトロポリタン仙台にて通常総会および理事会を開催しました。

総会は会員の皆様による委任状の提出、および当日のご出席を合わせ、244団体のご参加をいただきました。議事として2025年度事業報告、第6期中期計画、2026年度事業計画・収支予算についての報告を行ったあと、理事、監事選任の件、2025年度収支決算の件について審議を行い、いずれも異議なく承認されました。

理事会では、新規入会会員、会長・副会長・専務理事選任について審議を行い、いずれも異議なく承認されました。

その後、記者会見を行い、東北域内外の関係各団体と連携して、様々な取組みを推進して行くことについて松木会長より報告を、また、この理事会で新たに就任した渡辺専務理事より、2026年度の事業計画、特に今期は第6期中期計画の初年度であり、次代を見据えた地域活性化の原動力となる持続可能な観光の推進について説明をしました。

・フェニックスアワード表彰式

第10回通常総会において、「フェニックスアワード2025」表彰式を行いました。「フェニックスアワード」は、東北6県及び新潟県に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人の皆さまを表彰し、当地域の観光発展に寄与することを目的とした2020年度からの取組みです。

第6回目となる今回は、みちのく潮風トレイルを通じた東北広域観光の創出と地域経済活性化への取組みをしている「日本航空株式会社東北支社」さま、東北において早期からインバウンド誘客のプロモーション活動を継続して展開している「花巻温泉株式会社」さま、福島県浜通り地域においてインバウンド観光を通じた地域コミュニティと地域経済の再生を目的に活動を行っている「F-ATRAs一般社団法人双葉郡地域観光研究協会」さまの3者を受賞団体として表彰いたしました。

東観推は引き続き「フェニックスアワード」等の事業を通じ、東北・新潟の観光に従事されている事業者の方々や取組みを応援してまいります。

・第10回通常総会 講演

総会の後は、今回の総会で退任となった紺野前理事長より「東北観光の現状と今後の取組み～東北には世界に誇れる観光素材がある～」と題した講演会を開催しました。

東日本大震災からの東北観光の変遷の他、オール東北で取り組んできた成果についてお話しました。最後には「東北の各地域には世界に誇れる観光素材があり、広域連携・融合・重層的な取組みをオール東北で継続することによって、東北は必ず元気になる」という力強いメッセージがありました。



【松木会長挨拶】



【記者会見の様子】



【アワード受賞者の皆さま】



【講演会の様子】



◆ 会議等

・6/26 第1回DMO会議

2026年度第1回目の東北域内DMO会議を開催しました。

本会議は、東北域内のDMOが一堂に会し、広域連携の推進と情報共有を目的として年に2回開催しているものであり、当日は、東北域内のDMO、自治体、東北運輸局、JNTOから計51名にご参加いただきました。

東観推からは、第6期中期計画、2026年度事業計画の説明のほか、東北観光DMPの分析レポートを報告しました。東北運輸局からは、2027年度の「広域連携観光促進事業」について情報提供のほか、岩手県観光協会から都道府県DMOの取組事例、JNTOから訪日プロモーション等の取組みについて発表があり、また情報交換の場面では、広域連携観光促進事業などに関するご意見やご質問、地域の課題など活発な意見交換が行われました。会議後には懇親会を開催し、参加者相互の交流を更に深めることができました。

今後も引き続き、東北域内のDMOの皆さまとの連携をより一層深め、更なる東北観光の振興に取り組んでまいります。



【渡辺専務理事挨拶】



【DMO会議の様子】

◆ 教育旅行

・6/19 第1回教育旅行誘致部会

第1回東北教育旅行誘致部会を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、34名にご参加いただきました。

会議内では、東北域内の受入実績や5月の首都圏誘致セールスの情報をもとに現状と課題を共有し、さらに、国内主要3都市や台北で開催する「教育旅行セミナー」、現地研修会など、2026年度の東観推「教育旅行事業」や各県の誘致計画について説明を行いました。

そのほか、磐越道や辺野古沖の事故、クマの市街地出没に対する情報提供や対策についても意見交換を行いました。

今後も引き続き各県との連携強化を図り、東北への教育旅行誘致の促進につなげてまいります。



【誘致部会の様子】

◆ 人材育成

・6/30 第十一期フェニックス塾入塾式開催会

ホテルメトロポリタン仙台において、第十一期フェニックス塾の入塾式を執り行いました。第一期生から第十期生まで395名の塾生を輩出している「フェニックス塾」ですが、今年度の第十一期は46名の塾生が入塾しました。

入塾式では塾長である松木会長より塾生に対し期待と歓迎の挨拶の後、塾生代表の郡山ビューホテル株式会社の島貫菜摘さんへ入塾証を授与し、島貫さんからフェニックス塾参加に際する意気込みを発表していただきました。

続いて第1回セミナーとして渡辺専務理事による「東北観光の現状と東観推の取組み」について講演を実施、午後にはワークショップとして、今後ディスカッションを重ねていくグループに分かれ、早速チームビルディングを開始しました。

フェニックス塾は、今年度も東北6県と新潟県で開催するセミナーとワークショップを通じ、オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と行動力を持った人材育成のための活動に取り組んでまいります。



【入塾証の授与】



【第十一期フェニックス塾生】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/		
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal		
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/		【霧幻峡の渡し（福島県）】
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/		
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko		
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip		【雲昌寺あじさい庭園（秋田県）】
	【Instagram (Tohoku Tourism_Japan) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/		
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja		
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/		
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei		
	【RED (日本東北観光)】 https://xhslink.com/m/60Jj6UTE74u		



【館鼻岸壁朝市（青森県）】

2026年5月から
始めました！

人事異動のお知らせ

◆東観推推進本部において人事異動がありましたのでお知らせいたします。

【転出6/30付】

- ・広域戦略部アシスタントマネージャー 赤松寛哲（JR東日本へ帰任）
- ・広域戦略部チーフ 千葉匠朗（東日本高速道路へ帰任）

【転入7/1付】

- ・総務渉外部チーフ 小野加奈子（JR東日本より派遣）
- ・広域戦略部チーフ 五木田亨（阪急交通社より派遣）
- ・広域戦略部チーフ 岩間英里（JR東日本より派遣）



【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階 【Email】 info-ttpto@tohokutourism.jp

【TEL】 022-721-1291 【FAX】 022-721-1293

